

福岡ロジテック

マスク・消毒液を配布

家族分まで 感謝の手紙添え

サー・カルマスクに感謝の手
紙を添え乗務員と家族に配布



【福岡】福岡ロジテック（永山浩一社長、福岡県宇美町）では、新型コロナウイルスの感染防止対策として、事務所内の飛沫感染防止や手洗い・消毒を強化している。

マスク不足が深刻化し始めた1月から、備蓄してい

たサー・カルマスクを全従業員とその家族らへ定期的に配布。マスクには「ウイルスの感染拡大で心配は絶えないが、家族の皆さんのが支えがあることで、前向きに業務に取り組むことができています」と感謝の手紙を添え、家族の分までドラ

イバーに渡している。スプレー式とハンドジェルの2種類の消毒液を全従業員に支給。手洗いのほか運転席、ハンドル、事務所ドアなど状況に応じて使い分け、除菌を徹底する。

事務所内の全てのデスクをプラスティック板と透明ビニールシートで間仕切った。また、机のレイアウトを変え、室内の各座席位置に2m間隔のソーシャルディスタンス（社会的距離）を確保。エアゾル感染と飛沫感染を防ぐ。

永山社長は「ウイルスといふ見えない敵との戦い。マスク着用や手洗いの徹底はもちろん、家族ぐるみで感染予防の意識を高めて欲しい、健康管理に努めて欲しい」と話す。

（上田慎二）